国際人間学研究所　シンポジウム「持続可能な観光」(2022.2.18)

中国周縁地域からの訪日観光に関する研究
—内モンゴル自治区を事例として

国際人間学科　国際関係学部
名前：呼春 学籍番号：KN21001

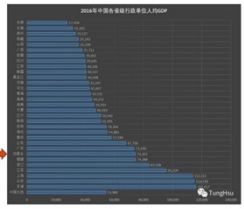
はじめに

内モンゴル自治区は経済発展し、人民の生活水準の向上と余暇が増加している、そのため、海外への観光旅行をする人々が多く見られるようになった。日本への観光客も増え、特に中国の新しい休日制度改革の推進に伴い、長い休みが減り、短い連休が増えている。そのため多くの観光客が、距離が近く、文化の差が大きくない日本を旅行へを選択するものと思われる。





中国人最新訪日意識調査結果発表：コロナ後も中国人の訪日意欲は旺盛！　日本は「行きたい国No.1」に



2016年の中国各省級行政単位の1人当たりのGDP



データによると、2019年には4時間以内の旅行先が中国人観光客の最も人気のある選択肢となっている。2019年の訪日客数は中国が20%でトップを占め、次いで韓国が14%、米国が11%となっている。

研究目的

本研究では、中国周縁地域からの訪日観光の現状を明らかにする。中国からの訪日観光客は日本における観光学的研究で注目されている。しかし、中国の地方ごとの訪日観光の状況は十分に調べられていない。そこで中国の地方都市など「周縁地域」からの訪日観光の状況について研究したい。具体的には訪日客の規模と変化、日本観光イメージ、訪日時の観光行動などを明らかにしたい。事例として、内モンゴル自治区研究対象地域とする。

研究方法

研究テーマに関する研究や各種資料を分析しつつ、訪日観光経験者へのインタビューを利用して内モンゴル自治区の訪日旅行を明らかにする。
分析の際に、内モンゴル自治区の訪日旅行と上海・北京など訪日観光先進地域との比較対照から、その特性や地域差を見出す。

内モンゴル自治区からの訪日観光経験者の事例（インタビュー）

<インフォマートの属性>

- 内モンゴル自治区オルドス市在住
- 女性、20代、大学生
- 2名での個人旅行
- 個人ネット予約で手配
- 9泊10日の日程



インフォーマントの観光旅程		
1日目	オルドス市→北京→関西空港→大阪道頓堀	大阪泊
2日目	大阪市内観光（心斎橋など）	大阪泊
3日目	大阪ユニバーサル・スタジオ（USJ）	大阪泊
4日目	大阪水上バス—サンタマリア号	大阪泊
5日目	大阪→東京都内観光（銀座、六本木など）	東京泊
6日目	渋谷でショッピング→SHIBUYA SKY	東京泊
7日目	原宿でショッピング（supreme、X-Large，Bapyなど）	東京泊
8日目	浅草寺→台場→新宿	東京泊
9日目	東京→神戸市内でショッピング（柿本商店など）	大阪泊
10日目	大阪→北京→オルドス市	帰国

まとめ

中国内モンゴル自治区からの個人旅行者へのインタビューによると、若者層が日本旅行の主力になりつつあるようである。団体旅行でも自由行動のある旅行製品が人気を集めている。春は桜、夏は海、秋は紅葉、冬はスキー、温泉などの観光資源が評価されて、四季を通じて日本旅行は人気であるという。

インタビューによると、日本への個人旅行をする人々は、20代の若い女性が主力で、日本は女性に非常に人気のある目的地である。たとえば、温泉、医療観光、ドラッグストア、女性向けホテル、カプセルホテル、和服、和食料理、茶道などは、いずれも女性が好む観光体験である。

中国周縁地域からの訪日観光に関する研究：内モンゴル自治区を事例として
プレゼンテーション

王　蛍雪（国際人間学研究科博士後期課程 3 年）：これから国際人間学研究科の呼春さんから、「中国周縁地域からの訪日観光に関する研究：内モンゴル自治区を事例として」というない木で発表していただきます。それでは、どうぞ。

呼春（国際人間学研究科博士前期課程 1 年）：こんにちは。中国の内モンゴル自治区出身で、今中部大学の国際人間研究科で勉強している博士前期課程 1 年生の呼春と申します。よろしくお願いします。私のテーマは、「中国周縁地域からの訪日観光に関する研究：内モンゴル自治区を事例として」です。

先に簡単に、内モンゴルを紹介します。内モンゴル自治区は略称内モンゴル、中国北部に位置する内モンゴルの総面積は 118.3 万平方キロメートルです。内モンゴル自治区の常住人口は 2,405 万人です。現在、内モンゴル自治区は経済発展し、人民の生活水準の向上と余暇が増加しています。そのため、海外への観光旅行をする人々が多くみられるようになっています。日本への観光客も増え、特に中国の新しい休日制度改革の推進に伴い、長い休みが減り、短い連休が増えています。そのため、多くの観光客が、距離が近く、文化の差が大きくない日本を旅行先として選択するものと思われます。

これは、JIMC のニュースです。題目は、中国人最新訪日意識調査結果発表、コロナ後も中国人の訪日意欲は旺盛、日本は「行きたい国ナンバーワン」に、というものです。このグラフは、2016 年の中国各省行政単位の 1 人当たりの GDP です。グラフによると、内モンゴルは、全国で第 7 位です。ですから、内モンゴルには、大きな海外旅行への潜在力があります。このグラフは 2019 年の中国のトップ 10 の海外旅行者の人数比を示したものです。データによると、2019 年には、4 時間以内の旅行先が中国人観光客の最も人気のある選択肢となっていることがわかります。2019 年の訪日客数は、中国が 20%でトップを占め、次いで韓国が 14%、アメリカが 11%となっています。

私の研究の研究目的です。本研究では、中国周縁地域からの訪日観光の現状を明らかにすることです。中国からの訪日観光客は、日本における観光学の研究対象として注目されています。しかし、中国の地方ごとの訪日観光の状況は、十分に調べられてはいません。そこで、中国の地方都市など、周縁地域からの訪日観光の状況について研究したいと思います。具体的には、訪日観光客の規模と変化、日本観光のイメージ、訪日時の観光行動などを明らかにしたいと思います。事例として、内モンゴル自治区を研究対象地域とします。

次に研究方法です。研究テーマに関する研究や、各種資料を分析しつつ、訪日観光経験者へのインタビューを利用して、内モンゴル自治区の訪日観光旅行の状況を明らかにします。分析の際に、内モンゴル自治区の訪日旅行と、上海・北京など訪日観光先進地域との比較対照から、その特性や地域差を見出す予定です。

これは、内モンゴル自治区からの訪日観光経験者の事例です。インフォマート属性としては、内モンゴル自治区オルドス市在住の 20 代の女性で大学生です。2 人での個人旅行をしています。旅行は、個人ネット予約で手配し、9 泊 10 日の日程です。これは、インタビューのスケジュール表です。

以下、まとめです。中国内モンゴル自治区からの個人旅行者へのインタビューからは、若者層が日本旅行の主力になりつつある様子が窺えます。団体旅行でも自由行動のある旅行製品が人気を集めています。春は桜、夏は海、秋は紅葉、冬はスキー、温泉などの観光資源が評価されていて、四季を通じて日本旅行は人気であることがわかります。

インタビューによると、日本への個人旅行をする人々は、20 代の若い女性が主力で、日本は女性に非常に人気のある目的地であるそうです。例えば、温泉、医療観光、ドラッグストア、女性向けホテル、カプセルホテル、和服、和食料理、茶道などは、いずれも女性が好む観光体験とのことです。以上です。ご清聴ありがとうございました。

フフムチル（内モンゴル大学蒙古歴史学系准教授）：ありがとうございます。
王　：何か質問はありますか。
フフムチル：日本語だいぶうまくなったね。呼春君。
王　：上手ですよね。なんか前回発表した時より、上手になりましたね。
フフムチル：王さんは、まだ会社ですか、今。
王　：会社って。
フフムチル：前回、私が日本に行ったときも会ったんですよね。
王　：そうですね。会社もまた、やっています、ぎりぎりですけど。
フフムチル：いいですね。
王　：いやいや。
フフムチル：呼春君の研究テーマ自体は、面白いテーマだと思うのだけれども、ちょっと、今回の発表では事例が少ないというか、1 人の例を示しただけですね。これから、どんどん事例とかバリエーションを増やしていったほうが、もっと実態に近づけるのではないかと思いました。
呼春：分かりました。
フフムチル：呼春君は、内モンゴル大学の私の学生なのです。
王　：そうなんですね。
フフムチル：クラス担当教員だったのです。2019 年から 2020 年の間に、私が早稲田大学で訪問学者だったときに、彼も東京にいたんですよ。
王　：そうなんですか。
フフムチル：ええ。東京の言語学校から、私が澁谷先生に紹介して、中部大学に入ったのです。
王　：そうなんですか。内モンゴル行ってみたいです。
フフムチル：ぜひ、いらっしゃってください。
王　：先生と一緒に行くって決まっているのに、コロナになって行けなくなったんですよ。

フフムチル：そうですね。
王　：行きたいですね。
フフムチル：私も、皆さんが来るのを待っています。
王　：ぜひ。
フフムチル：コロナの後はいつ来ても、私は待っていますので。
王　：ありがとうございます。
フフムチル：内モンゴルの大草原と羊肉でごちそうしますよ。
王　：まだ、一度も行ったことがないので、行ってみたいです。
フフムチル：王さんの出身は天津でしたね。
王　：そう、天津です。ただ、うち、満州、もともと満州で、私は北京だったのですが。
フフムチル：満州族ですか。
王　：そうです。満州族です。はい、それでは、そろそろ、以上でよろしいでしょうか。
フフムチル：大丈夫です。
王　：じゃ、また、よろしくお願いします。

（　　）内＝編集者の追記